

2月20日、兵庫県民会館にて国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究所主催、兵庫県後援の「新たな除草機械等を活用した水稻有機栽培への挑戦」というセミナーが開催されました。その取り組みや技術的ポイントを紹介したお話や事例報告発表が興味深かったので、その一部を紹介します。詳しくはページ下に記載のHPをご覧ください。



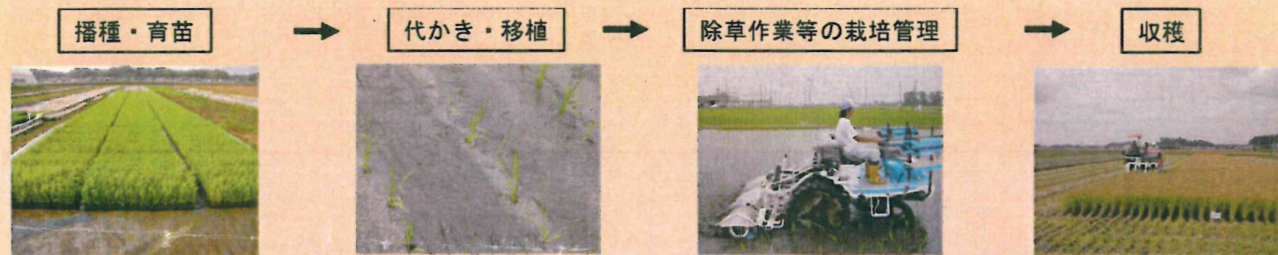
高精度水田用除草機を中核とした水稻有機栽培システムの開発と有機栽培技術マニュアルの作成

農研機構では、水稻の有機栽培で最も重要な雑草対策として、深水管理や二回代かきなどの耕種的抑草技術の効果について検討してきました。また、労働生産性に優れる高精度水田用除草機の利用を中核とした水稻有機栽培システムを組み立て、圃場試験を行って収量性や生産コスト等を慣行栽培と比較・評価してきました。これらのデータをもとに県の研究機関等と連携して「有機栽培技術マニュアル」を作成しました。

1. 雑草対策として高精度水田用除草機による除草と移植時および除草作業時の粒状米ぬか散布のほか温湯種子消毒、2回代かき、中苗移植などをおこなう水稻有機栽培システムを提示しました(図1)。
2. 本栽培システムでは、平均10cm以上の深水管理と組み合わせることにより雑草が顕著に抑制され、水深12cm以上では慣行栽培の概ね9割以上の精玄米収量が得られました(図2)。
3. 2回代かき^{注)}は、ノビエに対しては効果が高いがコナギに対しては効果がないことを明らかにしました(図3)。
注) 荒代かきと本代かきの間を3週間程度あけて雑草を発芽させ種子を減らす技術
4. 有機栽培技術を生産者にわかりやすく解説した「水稻有機栽培技術マニュアル」はWeb上に公開あり、パソコン、スマホなどから閲覧可能です。

機械除草マニュアル

検索



- 温湯種子消毒
- プール育苗
- 施肥・2回代かき^{注)}
- 中苗移植
- 移植同時米ぬか散布
- 常時湛水管理(水深8~10cm: 中干し時を除く)
- 高精度水田用除草機による除草(移植約10日後、20日後)
- 米ぬか散布(移植10日後のみ、除草作業と同時散布)
- 中干し・追肥

<主な必要資材: 有機JAS適合育苗培土(約50L/10a)、粒状米ぬか(約50kg/10a×2回分)、有機JAS適合肥料>

図1 高精度水田用除草機と米ぬか散布を中核とした水稻有機栽培システム

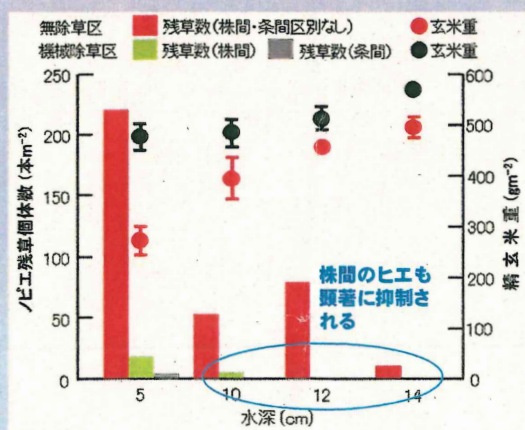


図2 機械除草+米ぬか散布体系におけるヒエ類の抑草効果に及ぼす水深の影響

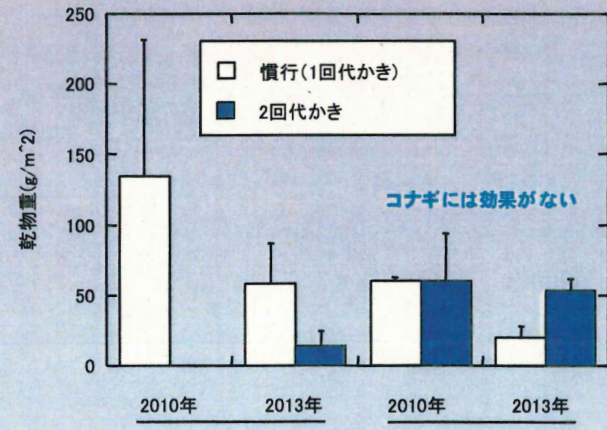


図3 ノビエとコナギに対する2回代かきの効果



お問い合わせ先 農研機構 中央農業研究センター 生産体系研究領域 三浦重典
〒305-8666 茨城県つくば市観音台2-1-18
電話: 029-838-8522 E-mail: juten@affrc.go.jp
URL: <http://www.naro.affrc.go.jp/narc/introduction/chart/0502/index.html>



水稻や大豆の有機栽培に関する研修もお引き受けします

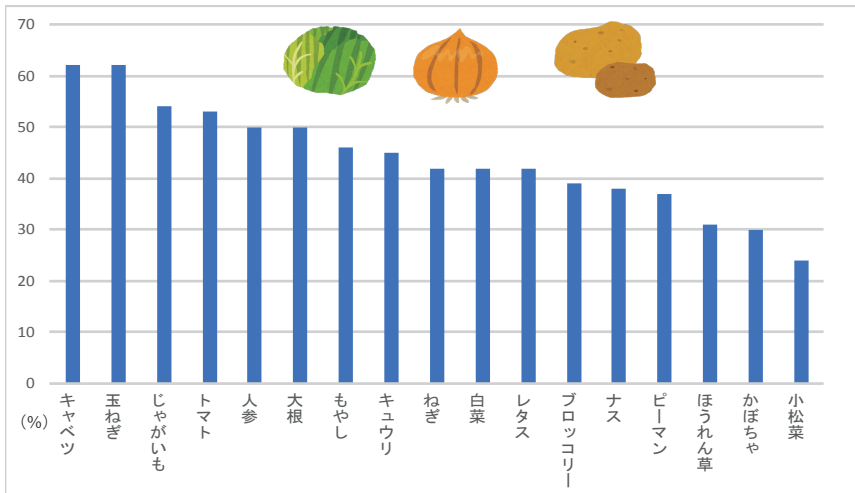
2016年の野菜の総括

●タキイ種苗アンケートより

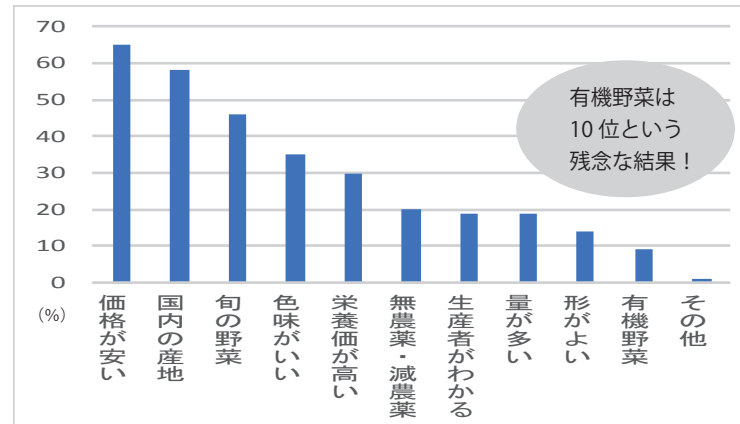
タキイ種苗(株)は2016年12月22日、「2016年の野菜の総括」と題する調査結果を発表した。これは全国の20~69歳の男女310人を対象にインターネットで野菜に関する意識等の調査をした結果をまとめたものです。

◆今年もっとも食べた野菜TOP3

「キャベツ」「玉ねぎ」「じゃがいも」



◆野菜を購入する上で意識しているポイント



◆今年、世間で流行ったと思う野菜の食べ方は?

① スムージー	⑧ 干し野菜
② 蒸し野菜	⑨ デトックススープ
③ ジャーサラダ	⑩ ピクルス
④ チョップドサラダ	⑪ ラップサラダ
⑤ パーニャカウダー	⑫ 野菜スイーツ
⑥ コールドプレスジュース	⑬ ベジブロス
⑦ シーザーサラダ	⑭ その他

①スムージー



凍らせた野菜や果物をミキサーにかけたシャーベット状の飲み物

③ジャーサラダ



ビン(ジャー)などの保存容器に色あざやかな野菜とドレッシングを詰めサラダにしたもの

④チョップサラダ



ニューヨークで大流行した、すべての具材を小さくカットしたスプーンで食べられるようなサラダ

⑬ベジブロス



野菜の皮や芯などのいわゆる野菜くずを水とコトコト煮出しスープにしたもの

◆9割近くの人が今年の野菜について「価格高騰」を意識

◆流行した野菜の食べ方は「スムージー」60代からも支持

◆カット野菜を購入したことがありますか?

ある→73%

◆カット野菜を買った理由は?

一度に使いきれ	55
値段が手ごろ	47
料理時間の節約	37
生鮮野菜より安い	28
一度にいろいろな野菜が手に入る	26
ゴミがでない	23
用途により使い分けできる	17
コンビニで購入できる	15
料理が苦手	7
安心・安全	4
その他	2

(%)

◆今後取り入れたい注目している野菜はありますか?

